

# 図で見る滋賀県の姿 2023

## 自然

### ■滋賀県の位置

【図1】



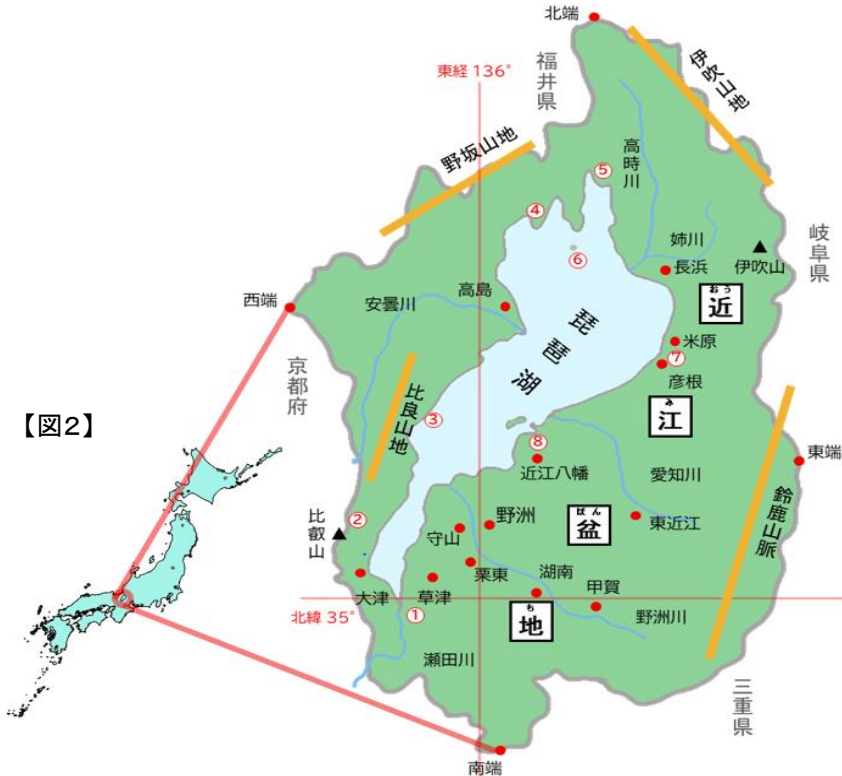
	地名	経度	緯度
東端	東近江市茨川町	136° 27' 19"	35° 09' 10"
西端	高島市朽木生杉	135° 45' 50"	35° 20' 43"
南端	甲賀市信楽町多羅尾	136° 01' 37"	34° 47' 27"
北端	長浜市余呉町中河内	136° 10' 29"	35° 42' 13"

国土交通地理院

滋賀県の北緯でみると ①テヘラン（イラン） ②ベイルート（レバノン） ③ロサンゼルス（アメリカ）  
東経では ④ハパロフスク（ロシア） とほぼ同じ位置にあります。

### ■地勢図

【図3】



【図2】

●琵琶湖

面積	669.26km <sup>2</sup>
周囲	235.20km
貯水量	275億 m <sup>3</sup>
最大幅	22.8 km
最小幅	1.35 km
最大水深	103.58 m
南北の延長	63.49 km

「滋賀の環境2022」県環境政策課

水面標高  
大阪湾最低潮位  
(O. P. S.) +85.614m  
水資源機構 琵琶湖開発総合管理所

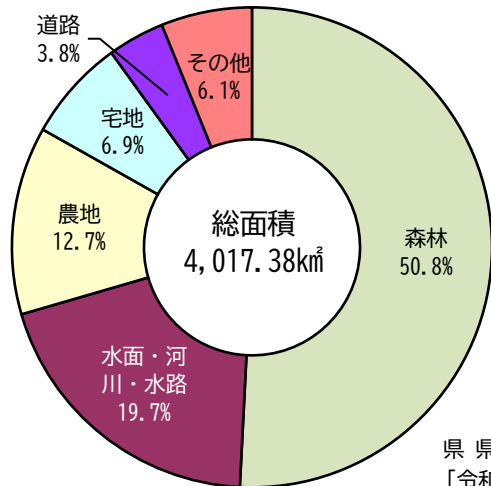
●琵琶湖八景

- ①夕陽・瀬田石山の清流
- ②煙雨・比叡の樹林
- ③涼風・雄松崎の白汀
- ④暁霧・海津大崎の岩礁
- ⑤新雪・賤ヶ岳の大観
- ⑥深緑・竹生島の沈影
- ⑦月明・彦根の古城
- ⑧春色・安土八幡の水郷

- ・滋賀県は、日本列島のほぼ中央に位置し、北は福井県、東は岐阜県、南東は三重県、西は京都府と接している。
- ・伊吹山地、鈴鹿山脈、比良山地など 1,000mを超える高い山々に囲まれた盆地で、中央には県総面積の約6分の1を占める、日本最大で最古の湖、琵琶湖がある。
- ・琵琶湖には大小約450本の河川が流れこみ、瀬田川と人工の琵琶湖疏水から流れ出している。計算上、湖の水が全部入れ替わるには約19年かかる。滋賀県をはじめ近畿約1,450万人の水道水源であり、農業用水、工業用水などにも利用されている。

## ■土地利用状況

【図4】



### くらしの数字

年平均相対湿度\*1  
76% 全国6位

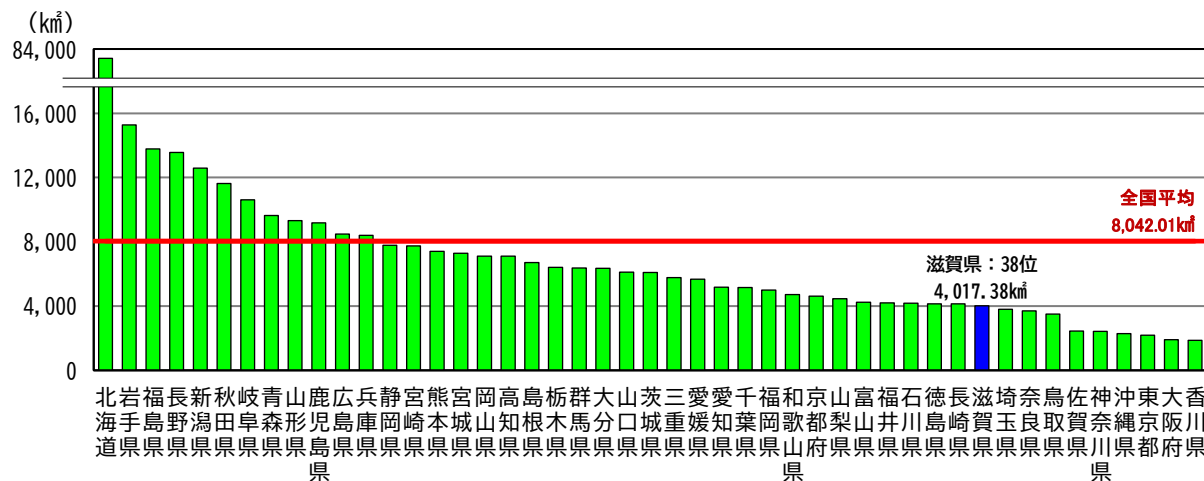
\*1 蒸気圧と飽和蒸気圧との比を百分率(%)で表したものの。

「統計でみる都道府県のすがた2023」  
総務省統計局（令和3年度）

県 県民活動生活課（令和3年度）  
「令和3年全国都道府県市区町村別面積調」 国土地理院（令和3年10月1日現在）

## ■都道府県別の面積

【図5】

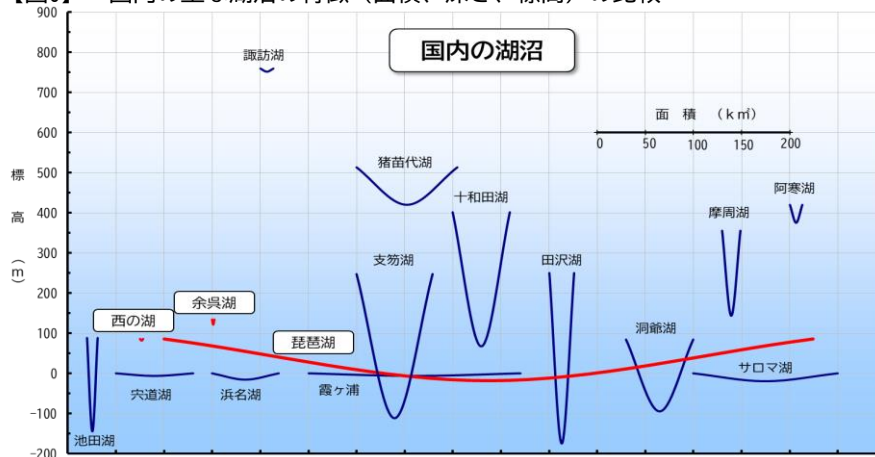


※1 都道府県にまたがる境界未定地域がある都道府県は、参考値です。

「令和3年全国都道府県市区町村別面積調」 国土地理院（令和3年10月1日現在）

## ■国内主要湖沼の比較

【図6】 国内の主な湖沼の特徴（面積、深さ、標高）の比較

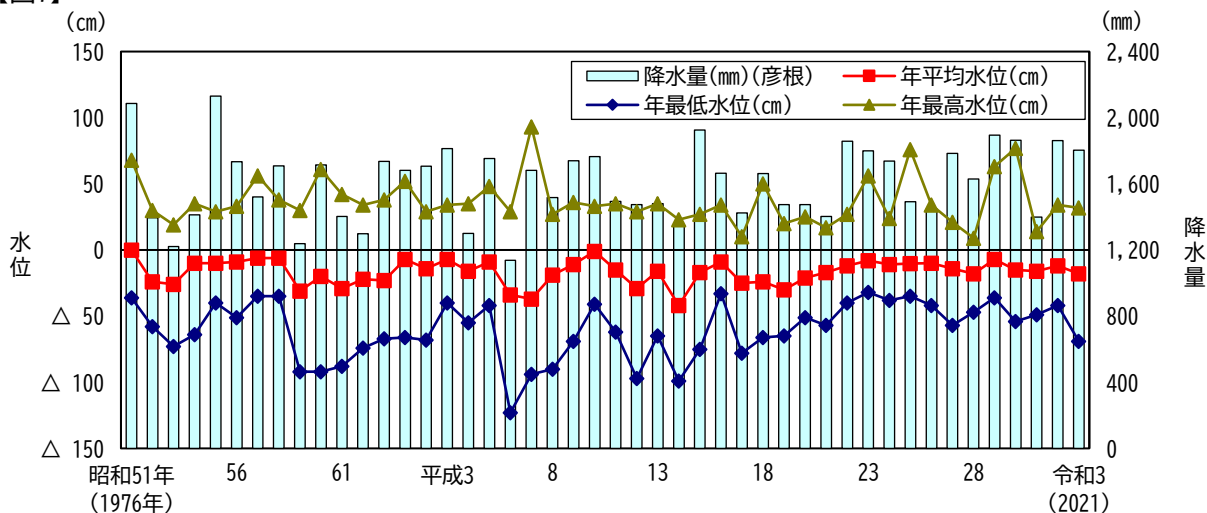


「滋賀の環境2022」 県環境政策課

・滋賀県の総面積は4,017.38km<sup>2</sup>で、約2分の1が森林、約5分の1が水面・河川・水路、約10分の1が農地である。国土全体(377,974.63km<sup>2</sup>)の約1%を占め、全国38位。(図4)(図5)

## ■降水量と琵琶湖の水位の変化

【図7】

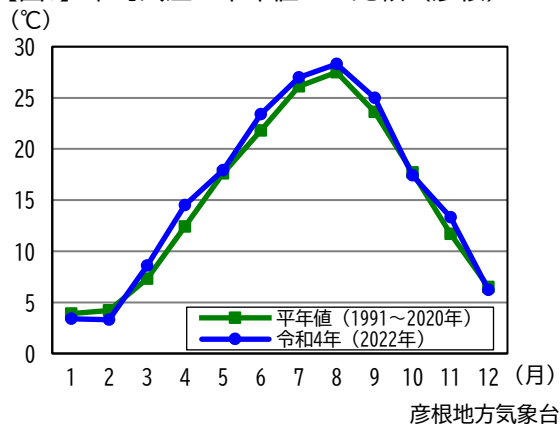


※2 年平均水位は、片山、堅田、大溝、彦根、三保ヶ崎の5カ所（平成4年3月以前は鳥居川観測所）の午前6時の平均値。  
 ※3 降水量は彦根の合計

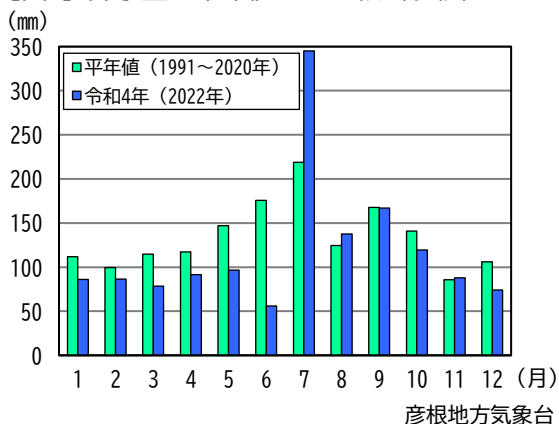
近畿地方整備局琵琶湖河川事務所、彦根地方気象台

## ■気温と降水量

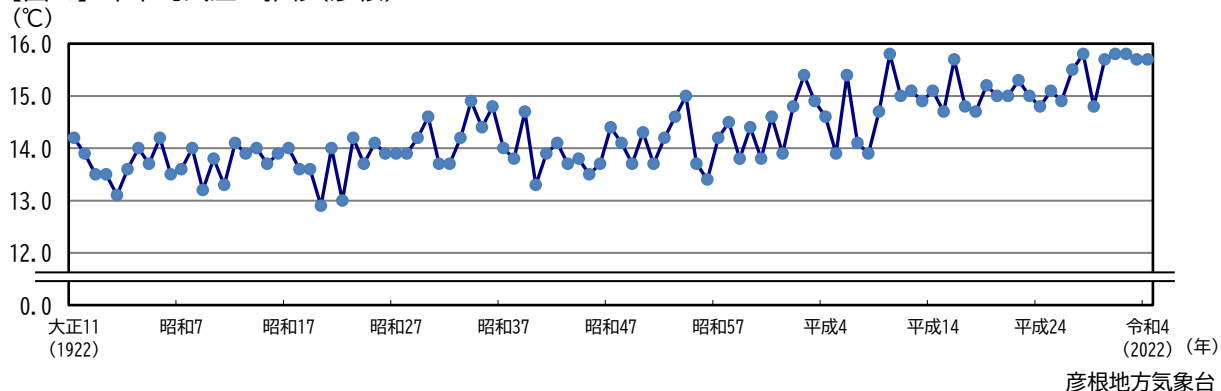
【図8】 平均気温の平年値との比較（彦根）



【図9】 降水量の平年値との比較（彦根）



【図10】 年平均気温の推移（彦根）



- ・昭和51年以降の琵琶湖の平均水位をみると、昭和52年以降マイナスが続いている。降水量は大きな変動があるものの、全体としては横ばいである。（図7）
- ・令和4年の平均気温を平年値と比較すると、特に4月が2.1℃高くなっている。また、降水量を平年値と比較すると、特に7月が多く、6月が少なくなっている。（図8）（図9）
- ・大正11年からの年平均気温の推移をみると、上昇傾向を示している。（図10）